

令和5年 網走市議会
総務経済委員会 会議録
令和5年11月17日（金曜日）

○日時 令和5年11月17日 午前10時43分開会

○場所 議場

○議件

1. 行政視察の取りまとめについて

○出席委員（8名）

委員長	井戸達也
副委員長	石垣直樹
委員	小田部照
	澤谷淳子
	立崎聡一
	深津晴江
	松浦敏司
	山田庫司郎

○欠席委員（0名）

○議長 平賀貴幸

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（3名）

里見哲也
古田純也
古都宣裕

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	石井公晶
総務議事係	山口諒

午前10時43分開会

○井戸達也委員長 ただいまから、総務経済委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、行政視察の取りまとめになります。

先日、10月24日から27日までですね、栃木県日光市、長野県上田市、静岡県焼津市での行政視察につきまして、既に皆様からレポートを提出いただいておりますが、ここで取りまとめという形で皆様から

終えての所感を述べていただきたいと思います。

それでは、御発言願いたいと思います。

○小田部照委員 私のほうから、詳細については報告書でまとめてありますので、端的に所感を述べさせていただきます。

今回は、3か所視察させていただいたわけですが、日光のブランディング、上田市の空き家対策、そして焼津市のドローンを使った防災、それぞれ見てきました。

本当に久しぶりに現地に実際、視察に行ったわけですが、私が本当に総論として感じたことは、やはり先進的に成功している自治体、その役所には、やっぱり情熱、思い、本当のやる気、この一言に限るのかなど。やっぱり成功しているところの役所の担当課には、情熱あふれる職員がいるということが本当にどんな事業を進める上でも、一番大切なことなんだなと今回、視察で一番私は感じているところであります。

簡単ではありますが、詳細については資料にありますので見ていただきたいと思います。

以上です。

○深津晴江委員 私も詳細につきましては、レポートに記載しておりますので御覧いただければと思います。

今思うのが、まず一つ目の日光市のブランディング。網走もかなり知名度はあるんですが、なかなかその素材を生かし切れていないところがありますので、やはりここを具体的にやっていく必要があるかと思っています。それと、三つ見せていただいてどれもやはり、組織として何をしたいのかっていうことを明らかにして、組織体制からも抜本的に変えていって、こうあるべきというところに進んでいるんだなっていうことがよくわかりましたので、やはり組織の在り方、あと、やはり何か一つのことをしっかり情熱を持って推進していく職員の力っていうのは本当に大きく町を動かしているんだなっていうことがよくわかりました。

初めての行政視察ではありましたが、どの自治体様も本当に丁寧に受け入れてくださって、やはり、

ウエルカムな状況っていうところを網走でもさらに深めていく必要を感じました。

以上です。

○松浦敏司委員 私のほうからも簡単にお話ししたいと思いますが、まず日光市です。あの日光市がコロナ禍によって観光客の入り込みが減るというような状況を危機感を持って、いかにして新しい日光をアピールしていくかっていうそういう点での、なんていうのかね、真摯なといいますか、謙虚なといいますか、あれほどの有名な日光市でも、やっぱりそういうふうに見直して、改めて、自らの日光市を見直す、歴史的なものや文化や様々な点から見直して、どうやってアピールするか。こういう点かね、非常に衝撃的といいますか、その態度といいますか、すごいもんだなというふうに感じたところです。

それから2日目の上田市ですが、空き家対策。この空き家対策も本当に我々の認識をはるかに超えるもので、民間まで巻き込んでそして、そういうレベルでやっていく。必要に応じて空き家を売りに出すとか賃貸にする、あるいは解体するという、そういう意味では、これが本当の意味での空き家対策だなというふうに思いました。そういう意味では、当市においても、空き家バンクっていうことがあります、その数字からいっても、全くはるかに大きな市民的な取組になっているという点で非常に参考になったと思います。

最後のドローンを活用した防災っていう、これもまたすごいですね。あらゆる災害に対してドローンを活用すると。とりわけ、焼津は民間レベルで始まったときからドローンに取り組んで、そして、免許の取得もあり、指導をする職員もいるというようなことで、それと災害時には、職員が異動して違うところに行っても、このドローンの防災の人たちは、その任務も引き継いでやっていくというようなこともあったりして、これまた本当にすごい取組だなというふうに思いました。

いずれも、先ほど小田部委員も言いましたけれども、3市とも非常に担当者の熱意というのはすごいものでした。それと、やっぱりプロパーとまでは言いませんが、何年、5年、7年、9年とかという形で、その部署で専門的に取り組んでいるという点も非常に教訓的だったなというふうに思って、大変良い視察になったというふうに感じております。

詳しくはレポートを読んでいただければと思います。

す。

以上です。

○澤谷淳子委員 皆さんと本当に感想がそっくりなんですけれども、やはりですね、日光に行ったときに日光東照宮という超有名なブランドそのものがあるのに、やはり、なぜ新しいこんなことをするんだろうっていうのが不思議だったんですけれども、当市も監獄、流水、超有名ですけれども、やはりそのままでは、流水館のリニューアルとかもやっていまして、やっぱりこのままではどうかなっていう思いが逆にますます強まりました。本当に、この日光市の担当している方もやはり、今、松浦さんも言ったんですけれども、すぐ配置転換とかせずにじっくり、ずっと同じ方が本当に取り組んでいて、そこもよくそういう人事をやっていたかというのと本当に感じました。また、この方も本当にその熱意が本当に伝わって、市民の皆さんにも伝わっているというのがヒシヒシと感じられました。

また、上田市の空き家対策は、皆さん言うように本当にびっくりするぐらい宅建協会の支部長さんが市に全面的に協力して、その方のホームページを見ますと、官民今こそ一体となってこの問題に取り組むべきで本当にこの上田市はそれに協力されているということが書いてありました。本当にそう思いました。このやっぱり、ただ解体すればいいとかじゃなくて利活用に重きを置いて、宅建協会の方にも利益があるようなことを考えながら、官民が本当に連携してこの問題を解決するというのがすごいなと思いました。部署を統一したんですよ。網走もバラバラとなっているんですけれども、部署を統一して新しい部署をつくったっていうのも、この市長さんの決断というか、本当にすごいなと思いました。

あと、最後の焼津市のドローンは素晴らしかったんですが、私は、網走も海とか川とかの遭難事故のときにやっぱり、ドローンって必要だなと思ったんですけれども、意外にお金がすごくかかって、今からそれを取り入れるっていう町に対しては免許の問題とかもいろいろあってやっぱり、なかなか。ただね、費用対効果ばかりじゃなくて、お金がかかったとしてもそれを取り入れるべきっていう形もあるんですが、お金が本当にかかり過ぎかなって、今からやるんだったら、かかり過ぎかなという感想を持ちました。でも、この担当の方も非常に情熱を持って職員の方も、部署が変わってもドローン隊として呼出しがあれば、すぐ出動できるようにその部署自体の

上司もよく理解してくれて、辞令をわざわざ発行してくれるということでしたので、やっぱり取組がちょっと違うなっていう、皆さん、どの町もレベルが違う段階まで行っていると思いました。

以上です。

○立崎聡一委員 詳細についてはレポートにあるとおりだと思います。

種々、皆さんいろいろなお話をされたんですけども、久しぶりの行政視察ということで、実に有益だったんだなというふうに思います。

各それぞれの取組だとかなんとかっていうのは、やはり、目で見て耳で聞いてっていう百聞は一見にしかずという言葉が本当によく当てはまったんだなというふうに思いますし、いろいろな意味で有益だったんだなというふうに思います。

以上です。

○山田庫司郎委員 皆さん、語り尽くしているだろうというふうに思います。なるべく重複するところは避けますけれども、久しぶりに行政視察をさせていただきまして、委員間の交流も含めてですね、私は3市、非常に有意義だったというふうに感想を持っています。

それで日光市ですが、先ほども言われていました。2018年の実績ですが、約1,200万人観光客が訪れるこの町がなぜ、こういう事業をするんだと私も単刀直入にそういう疑問を抱きながら視察をさせていただきましたが、やっぱり時代の流れが非常に変わっているということを、先駆けをちゃんとしたからですね。やっぱりマーケティングに非常に力を入れて対応しているということも私自身、実感をさせていただきました。そういった、あとでも同じことに触れますけれども、やっぱり熱い職員がいるということが非常に事業をやっていく上で大切なことだと。事業っていうのは人がつくるのかなとも単純に思ってきた一つの事業です。

それと上田市ですが、やっぱり歴史的な背景のある町ということが背景にあるのかもしれませんが、この空き家対策に行政として重きを置いてですね、取り組んでいるということを非常に肌で感じてきました。先ほどもあったように、二つに別れた課を一つにして動いていますし、宅建協会との連携、言えば民を圧迫するのであんまり行政が触れないほうがいいっていう言い方をする方もいますけれども、逆に言えば、やっぱり行政と民がですね、しっかりとここはタッグを組んで空き家対策について、やっぱ

りしていかなければ町そのものがどうなっていくかという大きな課題になっていくと思いますので非常に勉強になりました。

それと、最後の焼津のドローンです。確かにお金がかかります。ですが、やっぱり災害情報の見える化ということで始めたという大きなスタート点がありましたので、お金がどの程度かかるのか一つありますが、一番大きな問題は、これからドローンを飛ばすときの規制、ルールが非常に厳しくなるような状況が生まれてきそうな気がちょっとしてしまいました。安易にこれを入れて、どうだこうだということに本当になるのか、ちょっと見極めながら対応していかなきゃならないことも一つあるというふうに思いますが、ここにも出戻りだというような言い方をしていましたが、熱い職員がいまして一生懸命やられていました。

ただ、網走市も似たような状況はありますけれども、やっぱり東海地震の関係で非常に逼迫している状況が一つ背景にもあったんだろうと思いますが、網走市もやっぱり、災害が少ない町とはいいながらも、何かあったときの対応を含めて、日常からしていかなきゃならないということになれば、このドローンの事業っていうのは非常に参考になりましたのでぜひ、網走市がどういう形で入れていけるかも、これから工夫を含めて考えていきたいと思い、全体として本当に関係者の皆さんに感謝申し上げながら有意義な視察をさせていただいたことを御礼申し上げて、一応報告させていただきます。

○井戸達也委員長 皆様から一通り、所感をお伺いいたしました。

3市訪問をして、視察してまいりましたけれども委員の皆様には、積極的に質疑していただきながらですね、大変、実のある行政視察になったのかなというふうに私自身も感じております。

私のほうも、報告を上げておりますので、詳細については、この中で皆さんからお話いただきましたけれども、私もまとめさせていただいております。

本当に久しぶりの、実際に訪れての行政視察ということで、現地を訪れてですね、実際に担当者からどれだけの熱量を伺えるのかっていうところをですね、まさに肌に感じた視察だったかなというふうに思っております。

今後も視察を通じて、我々のこの町にとってどのようにフィードバックできるのか、こういったこと

も含めて有意義な視察をできればなというふうに思っております。

御協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

各委員からのレポートとともに、この調査概要を添付の上、後日、議長に調査報告書ということで、提出するということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、そのようにしたいと思います。

なお、提出いただいた報告書は、フォント等の体裁を整えた上でホームページに掲載するということにしたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのように決定をいたします。

それでは、これをもちまして総務経済委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午前 11 時 00 分閉会
